

短歌・俳句・川柳それぞれの違いを確認！！

短歌・俳句・川柳の最も大きな違いは音数です。短歌は 5・7・5・7・7 の 31 音、俳句・川柳は5・7・5の 17 音、で作ります。季語が必要なものは俳句だけで、短歌や川柳は必ずしも入れなくていいとされています。

また、テーマの選び方も異なります。短歌は、家族や恋人への感情を歌ったものが多く、自分の身の回りのことを題材としたものが中心となっています。俳句は、季語を入れる決まりがあるように、季節や自然を題材にしたものが中心となっています。川柳は、話し言葉で表現されることが多く、「サラリーマン川柳」や「シルバー川柳」など、誰にでもわかりやすいものや社会風刺を題材にしたものが中心となっています。



	音数	季語	数え方	特性
短歌	5・7・5・7・7 31音	基本的に不要だが、入れてもよい	一首、二首… 作品は「歌」と呼ぶ	作者の 主観 や 心情 、身近なテーマを詠む。「詩」としての性格が強い。
俳句	5・7・5 17音	必要	一句、二句… 作品は「句」と呼ぶ	モノ・コト ・ 風景 を詠むことが多い。切れや余韻、暗喩など独特の技法を好む。
川柳	5・7・5 17音	基本的に不要だが、入れてもよい	一句、二句… 作品は「句」と呼ぶ	人間 や 世情 、 時事 をユーモラスに詠むものが主流。